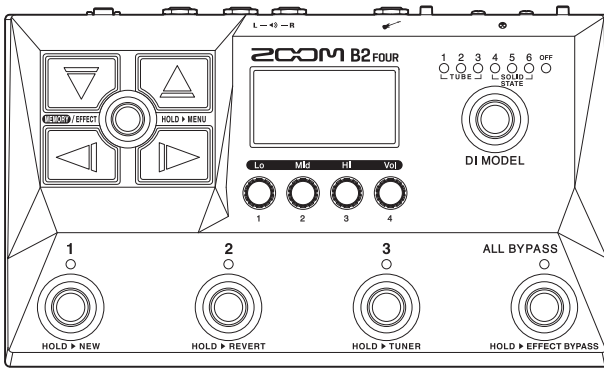


# B2 FOUR

## EFFECTS & AMP EMULATOR



## クイックツアー

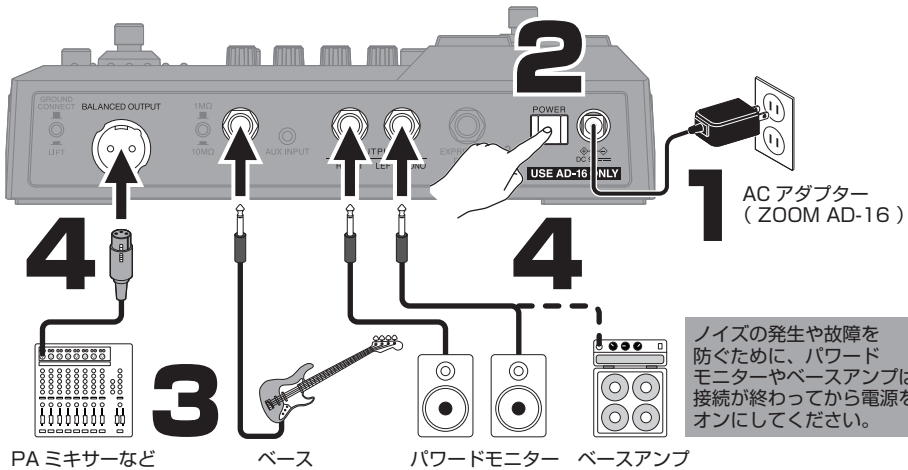
より詳しい説明を記載したオペレーションマニュアルなど、製品に関するドキュメントは以下の Web サイトでご覧いただけます。



[www.zoom.jp/docs/b2four](http://www.zoom.jp/docs/b2four)

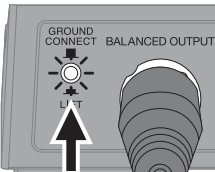
ご使用になる前に「安全上の注意／使用上の注意」を必ずお読みください。

# 電源を入れて接続する



## ■ GROUND LIFT スイッチ

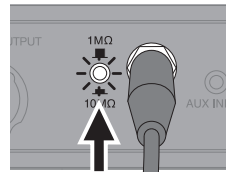
BALANCED OUTPUT 端子のグランドへの接続 / 解除を切り替えます。



<b>CONNECT</b> ■	グランドピンがグランドに接地します。
<b>LIFT</b> ■	グランドピンがグランドから切り離されます。 グランドループによるノイズが発生したときに有効です。

## ■ インピーダンス選択スイッチ

接続するベースに合わせてインピーダンスを切り替えます。

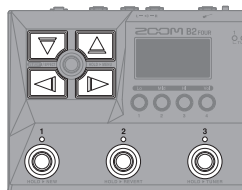


<b>1MΩ</b> ■	一般的なエレクトリックベースを使用する場合。
<b>10MΩ</b> ■	ピエゾピックアップを搭載したアコースティックベースを使用する場合。



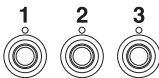
初期設定では ECO モードが "ON" に設定されており、操作が行われないまま 10 時間が経過すると、自動的に電源が切れます。ECO モードは "OFF" にすることもできます。

## MEMORY 画面を使用して演奏する

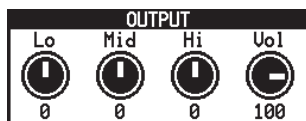
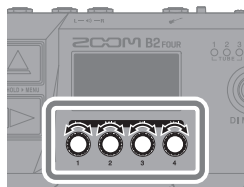
パッチメモリーとは、エフェクトの ON / OFF やパラメーターの設定値を記録したものです。エフェクトの呼び出しや保存はパッチメモリー単位で行います。



MEMORY 画面

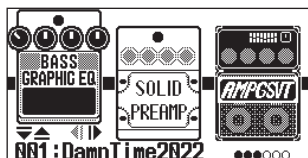
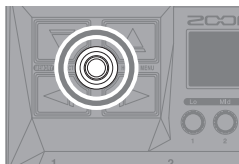
	10 離れたパッチメモリーを選択します。
	1 つとなりのパッチメモリーを選択します。
	ディスプレイに表示している 3 つのパッチメモリーを直接選択します。

MEMORY 画面では  で全体の音量と音質を調節できます。



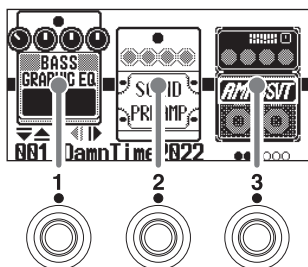
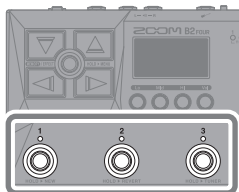
# EFFECT 画面を使用して演奏する

EFFECT 画面では、パッチメモリーで使用しているエフェクトやアンプが左から順に表示されます。

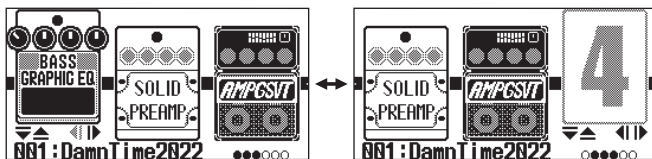
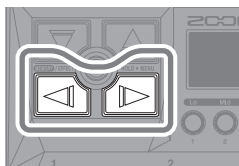


EFFECT 画面

## ■ エフェクトを ON / OFF する



## ■ 表示するエフェクトの位置を変える



: 音量やワウ効果をエクスプレッションペダルで調節できるエフェクトです。



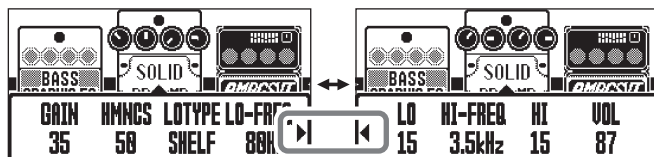
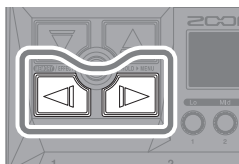
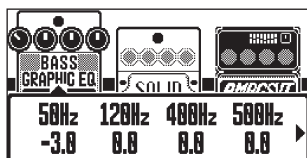
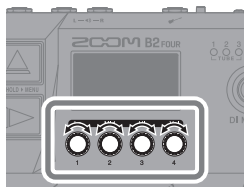
: リズム、ルーパー、ディレイ系エフェクトやモジュレーション系エフェクトで使用するテンポ ( BPM : Beats Per Minute ) を設定します。



: エフェクトの並び順を表します。

# パッチメモリーを編集する

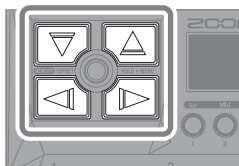
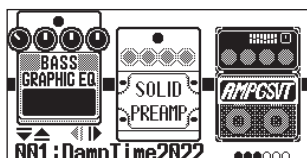
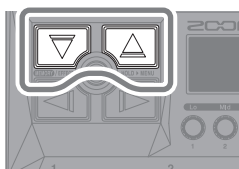
## ■ エフェクトを調節する



パラメーターが複数ページある時に▶ / ◀が表示されます。

## ■ ライブラリーの中から別のエフェクトを選択する

ライブラリー画面では選択しているエフェクトの音を単体で確認できます。



ライブラリー画面

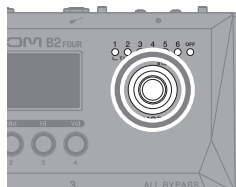
**MEMORY / EFFECT** (CLOCK) でエフェクトを決定して EFFECT 画面に戻ります。



EP Drive  
PROCESS  
OVERFLOW  
CHANGE  
EFFECT

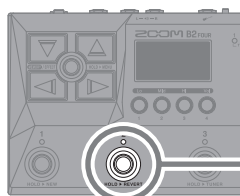
B2 FOURは5つのエフェクトを組み合わせることができますが、処理能力の限界を超えた場合は、左記のメッセージを表示します。この状態を解除するには、いずれかのエフェクトを変更してください。

## DI MODEL を選択する



1	TUBE1	豊富な倍音と太い低域が特長の真空管 DI 特性を再現しています。
2	TUBE2	明瞭なアタックとタイトな低域が特長の真空管 DI 特性を再現しています。
3	TUBE3	クリアで艶やかなサウンドが特徴の真空管 DI 特性を再現しています。
4	SOLID STATE1	適度なコンプレッションとシャープな音色が特長のソリッドステート DI 特性を再現しています。
5	SOLID STATE2	歪みの少ないクリアな音色が特長のソリッドステート DI 特性を再現しています。
6	SOLID STATE3	モータウンサウンドが特徴のソリッドステート DI 特性を再現しています。
OFF	OFF	DI MODEL を OFF します。

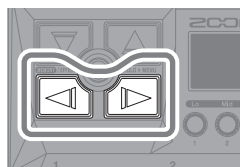
## 編集したパッチメモリーを元に戻す



長押し



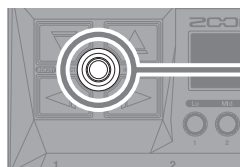
REVERT 画面



選択しているパッチメモリーを呼び出した時の状態に戻します。



選択しているパッチメモリーを工場出荷状態に戻します。

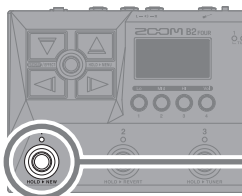


実行

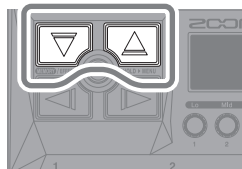


初期設定ではオートセーブ機能が ON になっており、パッチメモリーの変更内容は自動的に保存されます。

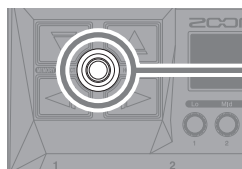
## 新しいパッチメモリーを作る



長押し



保存先を  
選ぶ



実行



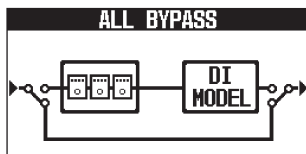
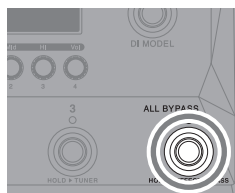
NEW 画面



ライブラリーからエフェクトを選択して  
オリジナルのサウンドを作ってください。



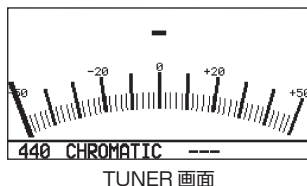
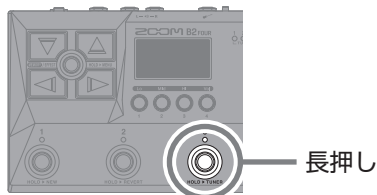
## BYPASS を使用する



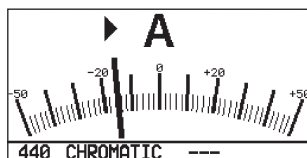
**HOLD ▶ EFFECT BYPASS**

を長押しすると、エフェクトのみバイパスします。

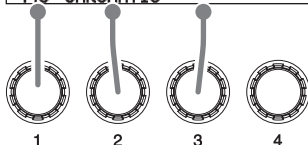
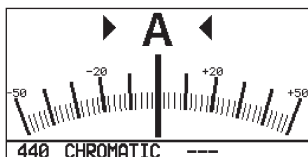
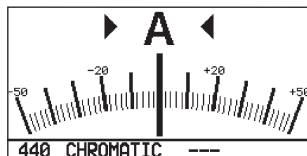
# チューナーを使用する



- チューニングしたい弦を開放で鳴らしピッチを調節します。
- 最寄りの音名とピッチのズレを表示します。



- ピッチが合うと▶◀が表示されます。



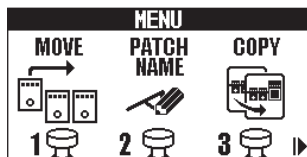
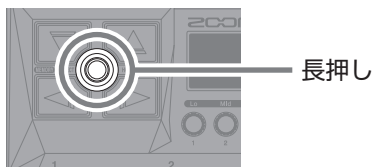
チューナーの設定は  で変更できます。

<b>1 基準音</b>	430 Hz ~ 450 Hz
<b>2 チューナータイプ</b>	お好みのチューナータイプを選択できます。
<b>3 フラットチューニング</b>	すべての弦を通常のチューニングよりも半音 ( $b \times 1$ )、1 音 ( $b \times 2$ )、1 音半 ( $b \times 3$ ) 下げた状態にチューニングできます。

チューナー使用時は、出力音がミュートされます。



# メニューを使用できること

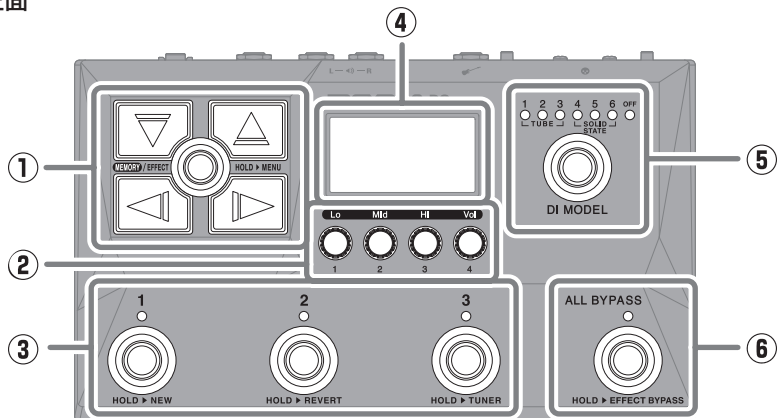


	エフェクトの並び順を変更します。
	パッチメモリー名を変更します。
	パッチメモリーをコピーして他の場所に保存します。
	パッチメモリーを消去します。
	オートセーブ機能の ON / OFF を設定します。
	プリセレクト機能の ON / OFF を設定します。
	ECO モードの ON / OFF を設定します。
	ディスプレイのコントラストを調節します。
	工場出荷時の設定に戻します。
	ファームウェアのバージョンを確認することができます。

各機能の詳細については、オペレーションマニュアルを参照してください。

# 各部の役割

## ■本体正面



### ① カーソルキー

パッチメモリーやエフェクトなどの項目を選択します。

### ② パラメーターノブ

エフェクトのパラメーター調節、各種設定を行います。

### ③ フットスイッチ

パッチメモリーの選択、エフェクトの ON / OFF ができます。

### ④ ディスプレイ

選択中のパッチメモリーやエフェクトの名称、パラメーターの設定値などを表示します。

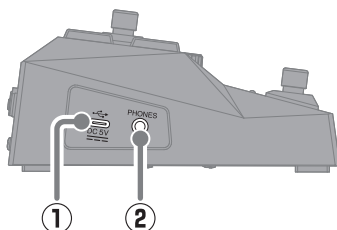
### ⑤ DI MODEL スイッチ

DI のモデルを選択します（選択中のモデルが点灯します）。

### ⑥ バイパススイッチ

バイパスを ON / OFF します。

## ■本体左側面



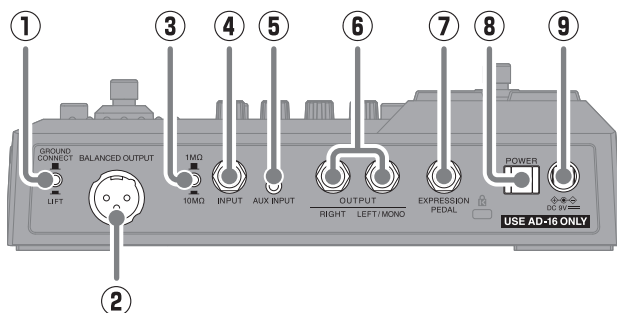
### ① USB ( Type-C ) 端子

パソコンやスマートフォン / タブレットと接続します。USB バスパワー動作に対応しています。

### ② PHONES 端子

ヘッドフォンを接続します。

## ■ 本体背面



- ① **GROUND LIFT スイッチ**  
BALANCED OUTPUT 端子のグラウンドへの接続 / 解除を切り替えます。
- ② **BALANCED OUTPUT 端子**  
PA システムに接続します。
- ③ **インピーダンス選択スイッチ**  
接続するベースに合わせてインピーダンスを切り替えます。
- ④ **入力端子**  
ベースを接続します。
- ⑤ **AUX INPUT 端子**  
携帯音楽プレーヤーなどを接続します。
- ⑥ **出力端子**  
ベースアンプやモニタースピーカーを接続します。
- ⑦ **EXPRESSION PEDAL 端子**  
エクスプレッションペダル ( ZOOM FPO2M ) を接続して、ペダルエフェクトの調節をします。
- ⑧ **電源スイッチ**  
電源を ON / OFF します。
- ⑨ **DC9V AC アダプター端子**  
専用の AC アダプター ( ZOOM AD-16 ) を接続します。

## その他の機能

USB AUDIO	パソコンやスマートフォン / タブレットと接続して 2IN / 2OUT のオーディオインターフェースとして使用できます。
Handy Guitar Lab for B2 FOUR	スマートフォン / タブレットを使用してパッチメモリーの管理やエフェクトの編集ができる専用アプリケーションです。

# 故障かなと思う前に

## 電源が入らない

- 電源スイッチが“ON”になっていることを確認してください。
- 接続を確認してください。

## 音が出ない、非常に小さい

- 接続を確認してください。
- 各エフェクトのレベルを調節してください。
- アウトプットボリュームを調節してください。
- エクスプレッションペダルで音量の調節を行っている場合は、適切な音量になるようにペダルの位置を調節してください。
- チューナーをオフしてください。

## ノイズが多い

- シールドケーブルが正常であることを確認してください。
- 純正の AC アダプター ( ZOOM AD-16 ) を使用してください。

## エフェクトが選択できない

- エフェクトの処理量が制限を超えている場合、ディスプレイに“PROCESS OVERFLOW”と表示されます。“PROCESS OVERFLOW”と表示されたエフェクトはバイパス状態になります。

## エクスプレッションペダルがうまく動作しない

- エクスプレッションペダル ( ZOOM FP02M ) の接続を確認してください。

文中の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。

文中のすべての商標および登録商標は、それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。

# ZOOM®

株式会社ズーム

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-4-3  
zoomcorp.com